

## ◆「老年社会科学」投稿規定◆

- 本誌は、老年社会科学に関する原著論文、実践・事例報告、資料論文、レビュー論文およびその他で、他誌に未発表かつ投稿していないものを掲載するものとします。博士論文の投稿については、機関リポジトリに『要旨のみ公開』とするならば、本誌への投稿を受け付けます。なお、各カテゴリについては以下のとおり定義しています。
- 原著論文：仮説検証型の論文であるか、あるいは記述分析型の論文であっても新しい理論的知見を得ようとする論文、もしくは未確認の事実を確認しようとする論文である必要がある。したがって、原著論文であれば、当該領域における先行研究についての論及が欠かせず、さらに先行研究と比較してどのような結果が得られたのかという考察が必要になる。
- 実践・事例報告：個人、集団、地域の事例の検討で一般化は難しいが検討に値する結果が認められるような研究、あるいは1施設における新しい試み（実践）についての報告などが含まれる。すなわち「実践・事例報告」は「やや劣る原著論文」ではない。実践・事例から得られた結果をもとにさらに研究を進め、新しい理論的知見が得られる、あるいは未確認の事実が確認された場合に、先行研究を踏まえた考察がなされれば、それは原著論文になりうる。
- 資料論文：当該領域の研究や実践活動に寄与する情報を提供するものである。資料論文にもある程度の先行研究に対する論及は必要であるが、調査内容によっては、調査資料の公開ということ自体に重要な価値がある場合も考えられる。
- レビュー論文：老年社会科学の最近の重要なテーマについて内外の諸研究を広く検討し、研究の状況、主要な成果、問題点等を総合的に解説し、そのテーマに関する研究の意義と今後の課題について論じる。レビュー論文には、システムティックレビューとメタアナリシスを含む。
- 投稿者（筆頭著者）は、本会会員に限ります。
- 原稿の採否および掲載の順序は、編集委員会において決定いたします。
- 投稿にあたっては、次の点にご注意ください。
  - a) [本原稿] 1部（保管用：著者名、所属、住所を記載した原稿）、[匿名原稿] 1部（査読用：著者名、所属、住所および投稿者が特定できる本文中の記述を削除した原稿）、をご用意ください。
  - b) 投稿用紙は共著者全員が署名・捺印のうえ、PDFに変換してください。投稿用紙は、本誌に備付けの用紙をA4判に拡大コピー（117%）して使用するか、または、学会ホームページからダウンロードしてください。
- 論文作成にあたっては、本学会の研究倫理指針に則って研究が行われたことを確認したうえで、以下の規定に基づいていることを本文または注に記載してください。
  - a) 人を対象とする研究の場合は、当該研究実施以前に所属研究機関等の研究倫理委員会にて承認されていること。
  - b) 方法等の記述の中に、研究対象者やデータの取扱い等に関する倫理的配慮の内容を記載すること。なお、事例研究（ケーススタディ、症例研究）については、研究倫理審査の適用外とする研究分野があることに鑑み、当面、本学会研究倫理指針に適合していることに加え、以下の条件を満たしていることを要件とする。
    - i) 所属機関において、倫理審査を求めたが適用外と判断された場合は、その旨を記載する。
    - ii) 研究内容の論文化に関して、本人または代諾者としての家族、あるいは情報管理責任者（機関の長等）の承諾を得ていることを記載する。

iii) 研究の実施とその論文化にあたって実際に行った倫理的配慮の手続きと内容を記載する。  
所属先に研究倫理委員会がない場合等は、編集委員会にお問い合わせください。

●執筆要領に定められた刷上り頁数を超過した場合には、刷上り1頁につき、15,000円の頁超過料金をお支払いいただきます。

●著者による校正は、初校のみといたします。

●本誌に掲載された論文の著作権は、日本老年社会学会に帰属します。

●掲載論文については、掲載誌1部を進呈いたします。別刷りをご希望の場合は、50部単位で実費作製いたします。校正の際にお申し込みください。

●原稿の提出方法

E-mailの添付ファイルにて、本原稿、匿名原稿、投稿用紙をお送りください。件名欄には、老年社会科学研究原稿とご記入ください。なお、提出の際、ファイルにパスワードを設定してください。

株式会社ワールドプランニング内「老年社会科学」編集委員会

E-mail: office@rounenshakai.org

Tel: 03-5206-7431 Fax: 03-5206-7757

※送付後1週間を過ぎても編集委員会からメールの返信がない場合は、編集委員会に問い合わせてください。なお、メールでの送付が難しい方については、編集委員会にご連絡ください。

## ◆「老年社会科学」執筆要領◆

1. 原稿は原則としてパソコンにてご執筆ください。Microsoft Wordを用い、以下のレイアウトでご執筆ください。用紙サイズはA4、文字数と行数は、30字×30行で、字間が行間より狭くなるように左右余白を50ミリ程度、天地余白を30ミリ程度とってください。ただし、和文・英文抄録は、キーワードを含め、それぞれ1ページに収まるように作成してください。

2. 原稿の体裁は、

- 1枚目に、①表題（英文表題併記）、②著者名（ローマ字併記、連名の場合は全員）、

- ③本誌に掲載する所属（英文表題併記）、④本誌に掲載する住所

- 2枚目に、無記名で、⑤和文表題、⑥和文抄録、⑦和文キーワード

- 3枚目に、無記名で、⑧英文表題、⑨英文抄録、⑩英文キーワード

- 4枚目から、⑪本文、⑫引用文献、⑬図、表、写真

とします。

本文頁には、頁下中央部に、必ず頁番号と通しの行番号を挿入してください。

なお、実践・事例報告の場合には、英文抄録は必須ではありません。

3. 原稿の枚数は、図表、写真、文献、和文・英文抄録を含めて、

- 1) 原著論文ならびに実践・事例報告は、16,000字以内（刷上り10頁）

- 2) 資料論文は、14,000字以内（刷上り9頁以内）

- 3) レビュー論文は、20,000字以内（刷上り12頁以内）

を原則とします。

4. 和文抄録は400字以内、英文抄録は200語以内、キーワードはそれぞれ5語以内とします。

5. 原稿文字数を計算する際、図表は、便宜上、一律、1点を1,000字に、和文・英文抄録はそれぞれ

400字と換算してください。

6. 原稿は、新かなづかい、常用漢字にてお書きください。
7. 外国の地名・人名・物件名などは、原語のまま用いることを原則としますが、日本語化しているものについてはカタカナで表記してください。
8. 専門用語はできるかぎり日本語表記とし、初出箇所にカッコでその欧文を記入してください。略語を使用する際は、初出箇所に正式名を記載し、カッコ内にその略語を挿入してください。
9. 度量衡の単位は、国際単位系に準拠してください。
10. 脚注は原則として認めません。
11. 文献の記載は引用文献のみとし、日本語、外国語を問わず引用順に番号をつけて記載してください。また、本文中の引用箇所に肩番号を付してください。
12. 文献の表記については、次のとおり記述してください。
  - a) 雑誌の表記にあたっては以下のとおりとしますが、通巻頁を用いている雑誌では号数の記載は必須ではありません。  
著者名(4名以上の場合)は3名まで記載し、その他は“ほか”あるいは“et al.”とする。  
：表題；副題、雑誌名、巻(号)：頁-頁(発行西暦年)。  
雑誌名は、正式名を記入してください。  
(例) 1) 日本太郎：在宅痴呆性老人のケア、老年社会学、14(2)：25-32(1992).  
2) Nihon T, Tokyo J, Minato S, et al. : The measurement of life satisfaction. *Japanese Journal of Gerontology*, 14(2) : 12-20 (1992).
  - b) 単行本の場合  
①著者名：書名、版数、頁-頁、発行所、発行地(発行西暦年)。  
(例) 1) 日本太郎：老人の睡眠と健康、第2版、15-26、ワールドプランニング、東京(1992).  
2) Nihon T : Aging and cognitive processes. 2nd ed., 15-26, World Planning, Tokyo (1992).  
②著者名：論文名、(編者名) シリーズ・叢書名巻数；各巻書名、頁-頁、発行所、発行地  
(例) 1) 日本太郎：人口高齢化に伴う社会的・経済的变化。(赤坂二郎、港三郎編) 老年医学全集第7巻；老年社会学、235-284、ワールドプランニング、東京(1992).  
2) Nihon T : Quality of life in older persons. In The hand-book of geriatric medicine, eds. by Akasaka J, Minato S, Vol. 7, Gerontopsychiatry, 235-284, World Planning, Tokyo (1992).
  - c) 電子メディア情報の場合  
著者名：当該情報のタイトル(URL、アクセス年月日)(公表年または最新の更新年)。  
(例) 内閣府大臣官房政府広報室：平成15年度高齢者介護に関する世論調査  
(<http://www8.cao.go.jp/survey/h15/h15-kourei/index.html>, 2004.12.11) (2003).
13. 図(写真)、表は説明を付け、挿入箇所を原稿に指示してください。  
図表タイトルおよび説明等は、以下の順としてください。
  - 1) 図の場合  
図版の下に、図の注、図の説明、出典、その下に図タイトル
  - 2) 表の場合  
表タイトルの下に、表本体、表の注、説明、出典  
出典は、版権等の関係からオリジナルの場合を除き必ず明記してください。
14. カラー印刷を希望される場合には、カラー製版・印刷代は投稿者の実費負担となります。

年 月 日

日本老年社会科学会誌

# 『老年社会科学』投稿用紙

氏名	
所属	
連絡先	勤務先      自宅 (どちらかに○)
住所	〒
Tel :	Fax :
E-mail :	

以下のとおり『老年社会科学』に投稿いたします。

投稿内容	1. 原著論文 2. 資料論文 3. 実践・事例報告 4. レビュー論文 5. その他	
表題		
投稿者氏名	所属	確認印
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

『老年社会科学』投稿用紙 1 / 2

## 1. 所属機関等における研究倫理委員会の承認

承認済み    未承認    所属機関で審査対象外と判断

※未承認の場合には、その理由を以下に記載してください。

※所属機関で審査対象外となった研究については、そのことがわかる文書を添付してください。

## 2. 研究における利益相反

あり    なし

※ある場合には、その内容を以下に記載してください。

## 3. 科研費の助成の有無および掲載時の論文の即時公開について

1) あり    なし

※ある場合には、その内容と科研費番号を以下に記載してください。

2) 採択された場合には、論文の即時公開を

予定している    予定していない